

品川・生活者ネットワーク

NEWS no.127

●発行/品川・生活者ネットワーク ●発行責任者/吉田ゆみこ
●〒140-8715 品川区広町2-1-36 ●TEL03-5742-6862
●FAX03-5751-7106 ●発行日 2022年5月10日
●E-mail shinagawa@seikatsusha.net



品川・生活者ネットワーク区議会議員
吉田ゆみこ

品川・生活者ネットワーク幹事長 ●文教委員会 ●災害・環境対策特別委員会 ●消防団運営委員会 ●土地開発公社評議員 ●議会改革推進会議 ●議会だより広報会議
<https://yoshidayumiko.seikatsusha.me/>



品川・生活者ネットワーク区議会議員
田中さやか

政調会長 ●総務委員会 ●廃棄物減量等推進審議会 ●議会改革ICT推進会議
<https://tanakasayaka.seikatsusha.me/>

区議会 REPORT

第1回定例会より

生活者ネットワークの提案が2022年度予算で実現！

品川・生活者ネットワーク区議会議員 田中さやか



区議会第1回定例会は、2月17日から37日間の会期を経て3月25日に閉会しました。会期中の予算特別委員会では一般会計予算1,891億円、四特別会計を含めて品川区総予算2,624億円の使い道が様々な論議の後、可決成立しました。

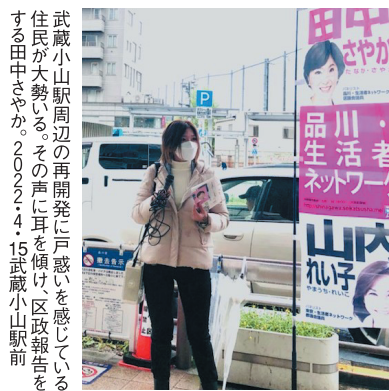
ヤングケアラー支援に、実態把握と職員への研修経費を計上

生活者ネットワーク(以下生活者ネット)はヤングケアラー(慢性的な病気や障がいのある家族をケアしている子ども)について、区長部局と教育委員会が調査し支援すべきと継続して求めてきました。

家事サポートや家族ケアが日常となっている子どもは、自分が当事者であることが分からず、また周囲も気付かず、表面化しにくい構造が支援に繋がらないという問題があります。ヤングケアラーの認識を職員や教員、子どもに係る人達が共有し、成長に合わせた子どもへの周知が重要です。

継続的な生理用品の配布を実施します

女性の貧困が深刻化しています。国際NGOの調査で収入や価格を理由に生理用品を



武蔵小山駅周辺の再開発に戸惑いを感じている住民が大勢いる。その声を傾け、区政報告をする田中さやか。2022.4.15武蔵小山駅前

購入できない、または入手することが明らかとなり、「生理の貧困」として大々的に報じられました。議会でも論議され、区の福祉窓口や区立学校で使用期限前の防災備蓄品を活用した生理用品の無償配布に繋がりました。

生活者ネットが備蓄品消費で終わらせず、継続的に学校で生理用品を配置する予算を求め、実現しました。生理の貧困は、若年に限らず幅広い年代の女性に起こりうる課題として解決をめざすべきです。

選挙公報の一人当たりのスペースが広くなります

品川区の選挙公報は他区に比べ、立候補者が多い区議会議員選挙では一人一人のスペースが小さく、情報を得るのには不十分でした。

全戸配布される公報は、選挙に関して積極的に情報を取りに行かない人や無党派層の人の目にも触れます。生活者ネットは、有権者が立候補者の政見を知る権利を保障するために、選挙公報の充実を求めてきました。紙面の拡充は投票率向上も期待できます。ようやく2023年の統一地方選挙から候補者一人当たりのスペースが広くなります。

保育の質の向上に取り組めます

品川区内では再開発が進み、それに伴い乳幼児人口が増加しています。区は、待機児童解消を優先しており、保育の質の確保に向けた視点は不十分でした。保育の質の向上は、子どもの安全と命を守ることに直結します。

生活者ネットは、保育者が保育に集中できる環境づくりと処遇改善の必要性を主張しています。その結果、2018年には「のびやかなプロフェッショナルスクール」(保育の質の向上に向けた研修)が開始され、本年度予算では巡回支援員が保育施設の安全確認に回る定期訪



「子どもたちのアイデアを活かしたワークショップ」を開催して、ユニバーサルデザインに配慮した公園が今年3月に完成した。だれでも乗られる「血型ブランコ」には多くの親子が順番待ちしていた。子どもたちの絵もモニュメントとして掲示している。2022.4.17大井坂下公園

子どもの意見表明・権利擁護施策にアイデアなし?!

東京都は都のこども基本条例を根拠に、子どもの意見表明・参加を促進する取り組みと、子どもの権利擁護を促進する施策について、希望した自治体への補助制度をつくり予算を計上しました。区はこの補助金で施策を展開できるにもかかわらず、『都の具体策の提案を待つ』という消極的な姿勢です。熱意のある自治体からは施策アイデアが出されています。

本区は23区の中でも早くに児童相談所開設に名乗りをあげ、2024年に開設予定ですが、同所の設置基本方針で、子どもへの最善の利益と権利擁護を掲げているのですから、子どもへの権利に関わる施策に積極的に取り組むべきです。